

GOVERNORS LETTER

*Alkira
Kaiyumi*



第35回年次大会前夜祭より小泉ガバナーと夫人



We Serve

1988~1989 No.6

333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは積極的参加の意欲であることを理解し指導力の開発にはげもう。

目 次

退任のご挨拶	3
第35回年次大会報告	6
CAB NEWS	21
ACT NEWS	27
333-複合・地区ニュース	30



We Serve



退任の弁はただ感謝

地区ガバナー L. 小 泉 昭

こんなに、一年という歳月を一瞬の時と感じたことは無い。生れて初めて渡ったアメリカ。コロラド州デンバーに於いて、333-C地区ガバナー就任以来の365日。公人としての自覚と、漲る責任感に苛なまれながらも、揮身の力を傾注したその爾後感にわれながら妙にすがすがしい。たゞ一つの目的意識に燃え、私生活面のすべてを犠牲にしても、それを成し遂げた男の壮快感とでもいうものだろうか。不精者にとって、これも初めて味わう体験であった。

もともと、ライオンズクラブの地区ガバナーなどという晴れがましい舞台に担ぎあげられたこと自体、わが人生に於ける一大ハプニングであり、意外性の所産として記録の一面を飾らして頂いたことには感謝以外はない。以心伝心。能力に対する評価は別として、誠心誠意を傾けてメンバーと対面したことは、ライオンズの友情を加味して相互理解という形で、有り余る程にわが心を和ましてくれる。

ここに及んで、省りみでのもろもろを再び列挙してその成果の程を誇張することも無ければ、弁解の心情を披歴することも無い。それは、一年一年毎の実態として、メンバー夫々が決めてくれる事柄であるからである。

ただこの任期中の実績とやらが、積重ねの一石となって、少しでも将来のライオンズクラブ活動発展の役に立つことが生ずれば冥利に尽きることであり、そのことは心から願わずにはいられない。

いずれにせよ、支えて下さった人、理解して下さった人、応援して下さいメンバー方々有ってのこと。満腔の謝意を申しあげなければならない。

心余りて言葉足りず。ただ只管に共に励んだ一年間。有り難う、有り難う、有り難う、を百編も千編も唱言しながら年度ガバナー退任の言葉としたい。

—We Serve—

年 次 報 告

キャビネット幹事 L. 木 下 務

年次大会が終って一ヶ月半、長い様で短かったこの一年間、無事終了出来ました事はキャビネット構成員を始め各クラブメンバー各位のご支援、ご協力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

本年度、小泉ガバナーの「高めよう心豊かにL字の誇り」をスローガンに会員増強とゼロ・ドロップアウト、LCIF・1000\$献金者のご理解あるご協力を、そして話し合い路線は各クラブ会長との第一回討論集会等、中身の濃い一年間だったと自負いたしております。

まず会員増強につきましては、約100名の増員と特筆すべきは2クラブの結成式でした。それは平成元年6月7日、成田LCのスポンサーにより成田平成LCの誕生、メンバー数39名で成田ビューホテルにて、又6月19日には同じ成田LCのスポンサーにて、成田グリーンLCの結成式を36名のメンバー数にて、ホテル日航成田でそれぞれ盛會に挙行されました。一部、成田LCからの移籍者もありましたが、この2クラブの結成により約144名の新しい仲間が増えた事は初期の目的を充分達した事と思えます。

次にLCIFメルビン・ジョーンズフェロー賞ですが169名と4LCの受賞でした。これにつきましては、国際本部より2月末現在、世界665準地区の中、第12位の成績を納めているとの知らせがありました。これも十分な成果と自負いたしております。

そして本年度アイバンク協会への協力金は、3,079,000円、エルピザの里、記念アクティビティー(29人乗りマイクロバス)



We Serve

は、4,630,000円、又その他の結果は第35回年次大会記念誌の20頁に幹事報告として記してございます。

以上の様な成果、ご報告出来ました事は偏えにメンバー各位のご指導、ご鞭撻、ご協力の賜物と感謝申し上げ、年次報告と致します。

お 礼

キャビネット会計 L. 桜井 一 正

静かにしとしとと紫陽花を濡す梅雨の雨、かと思うと一転真夏の太陽が照りつける暑い日と、日により寒暖の差の大きな時季であります。今にして思えば、去年の今頃は新しいライオンズ年度のスタートラインに立っていて、囲りの変化にも気がつかず、ただただ夢中でその日の日程を消化していたことが思い出されます。一年経って見て、アッと云う間に過ぎ去ってしまったという印象です。しかし長い一年だったと思います。先ず第一回キャビネット会議の準備の為の資料の取揃え、印刷へ向けての校正等、そして第一回キャビネット会議の後、今度はガバナー公式訪問、そうこうしているうちに年が明け各クラブの周年行事に、年次大会とそのあと始末にと、気がついたら年度が終っていたと云う次第であります。今回役員をやらせていただいた関係で県下各ライオンズクラブメンバーの大勢の方々とお会い出来たことは、大きな喜びでありました。一度もお会いしたことのない人でもライオンズメンバーと云うことで、旧知の間柄のように親しくなり、又話題にもことかかないと云うことを深く感じたわけでありました。これは「我々は奉仕する」と云う目的の為に、お互い各地域に眼を向け、ある意味では地区、国際本部の統合の下で行動をしているのではありますが、普通はなかなかそうはいかないものであります。それがライオンズメンバーは違う、あらためてライオンズ精神の崇高さを感じました。この一年、県下各メンバーのあたたかい友情により無事大役を務めさせていただいたことに深く感謝申し上げます、皆様共々「我々は奉仕する」に邁進してまいりたいと思います。最後にメンバー皆様の益々の御繁栄と、御健祥を御祈念申し上げお礼と致します。

We Serve.

ばくぎやく 莫逆の友との出会い

キャビネット副幹事 L. 小西 宗 仁

『ライオンズの改革への道づけは、対話路線しかないと思う。地区全クラブ参加の討論会のタタキ台を幹事と相談して早急にまとめて下さい』アイバンク・シンポジウム出席のため仙台に向う晩秋のみちのく(陸奥)路を走る新幹線での小泉ガバナーの真剣で重みのある語り口が、今、鮮やかに甦える。

ライオンズクラブ活動と端境期とも云えるこの時期に、一石を投じたとして内外の注目を集めた第一回討論会実現への道のりは、予想以上に厳しかった。『今や話し合いより実践の時だ』という強硬意見も出る中で、不退転の決意で臨んだガバナーの意欲は、賛否両論に湧く地区全体に広く伝播し、100有余名、81クラブの参加者により熱の入った討論、意見陳述が行われたことは既報の通り。

この素晴らしい成果は、333複合地区でも披瀝され、大きな反響を呼んだようだ。この下克上とも思える意見吐露こそ、まさに改革への確かな前進といえよう。

小泉ガバナーの泰斗としての力量や識見は、平素同じクラブに在籍する私は、充分認識していたものの、批判やクレームに臆することなく実践した事実は、『このキャビネットに目玉が欲しい』と助言した仲間のつぶやきの具現化でもあり、死せる孔明、生ける仲間を走らすが如く、この討論会は、333-C地区の快挙として永遠に印されよう。

顧りみるにキャビネット内局員の一隅にあって痛感したことは、単一クラブ内では到底測り知れぬ地域特性によるク



We Serve

ラブ運営の厳しい実態や様想に出会う毎度、その格差に考えさせられたものの、都市型クラブの特性も、田園都市型クラブの実態も、それぞれの環境の中で力一杯努力していることに敬意を禁じ得ない。又、ガバナー公式訪問に随行して、単一クラブによる活力に感動し、その存在感の重みを認識する一方、地区全体として、地域社会のニーズに即応出来る集団合同アクトの必然性を痛感したのは私一人ではないと思う。

時として公務との時間調整やメンバー間の意志疎通に苦しんだことも今としては、未熟ゆえの甘さと自戒する。

改革元年、を旗印に地区運営に蛮勇を奮って、敢えて試練の荒海であることを希いつ、出帆した小泉丸も、機智に富み、独特の人心掌握で裏をまとめた木下幹事、勘所を知ってソツなくまとめた桜井会計、面壁九年の姿勢を貫いた和田L、平田L、加藤L、藤代Lと里田、若鍋事務局員の明るく真摯な対応など、すばらしき莫逆の友との出会いに心から謝して辞訣とします。

キャビネットうちわけ小唄

作詩 L. 小西宗仁

一、 なにがとりもつこの仲間
不平も理窟もご縁なし
緊縮財政で乗り切った
小泉ファミリー勢揃い

一、 白いブレザーに微笑た、え
国際会長顔負けの
L字の誇りガバナーは
改革路線をまっしぐら

一、 鶴田浩二かキーチャンか
ネスの人気を一人占め
浜幸うならすスピーチは
幹事の人気を高めたり

一、 金庫か、えてボランティア
体に似合わぬやさしさで
湯の街芸者を泣かせます
ダンディ桜井ダイエット

一、 ベンツハンドルあざやかに
二枚目ワーチャン走ります
腰の痛みは古傷か
泣かせた女のウラミ節

一、 仕事もゴルフもそつはなし
裏をまとめた平田チャン
頑固でソフトな語り口
渋い演歌はケモノ道

一、 お固い仕事に嘘はなし
酒でも入れば本音吐く
コワイ顔しかトチャンは
ヤサシイ顔してこきおろす

一、 黒子の黒子と愚痴るけど
ネオンの街にくり出せば
高根の殿様 藤代チャン
花から花へと大スター

一、 一人真面目にコツコツと
仕事と奉仕に明け暮れた
女房もアキレタ真面目さは
コニヤン本音かタテ前か





We Serve

第35回年次大会アルバム (333-C 地区)



年次大会



代議員総会



前夜祭



記念ACT





We Serve

地区年次大会挨拶

333-C地区第35回年次大会会長

地区ガバナー L. 小 泉 昭

1988～89ライオンズ年度は期せずして64年間に及ぶ昭和の時代に惜別を告げ、歴史的にも極めて記念さるべき平成元年の時に、第35回年次大会を迎えることになりました。

本日、満場を揺るがす地区内84C、11ネスC、4レオCの皆様と共に333-C地区年次大会を挙行できますことは、私の最も喜びとするところであります。

本大会に際しまして、公私共にご多用の中を千葉県知事様、船橋市長様始め多くの地域代表の先生方、又登坂333複合地区ガバナー協議会議長のご臨席を賜り、錦上花をお添え下さいましたことに対し厚く御礼を申しあげます。

本年度は変化の時代に対応すべく、ライオンズクラブ変革指向の認識のもとに「高めよう、心豊かにL字の誇り」のガバナースローガンを掲げ、より一層のメンバー意識の高揚のため、皆様とともに一貫した精進を重ねて参りました。

この間、名誉顧問各位のご指導、私の両腕でありました内局関係者はもとより、キャビネット構成員皆様様の適切にしてたゆまざるご尽力、並に地区内各LCメンバーの温かいご理解ご支援を得て今日を迎えましたことは、本大会成功とともにライオニズム発展のため洵にご同慶の至りであり、ご協力に対し深甚なる感謝の意を表したいと存ずる次第であります。

新しい時代を拓くべく、先に実施いたしました全体討論会も予期以上の成果を挙げることが出来、地区内は勿論のこと広く地区外各層に於いてもわが地区の対応は高く評価されることとなっております。

お願いいたしました国際プログラムによるLCIFの件も複合地区内第一位は申すに及ばず、世界レベルでも最高クラスの成績をあげ得ました。

会員増強の面でも極めて満足すべき状況となっております。努力目標としながらも、或る程度達観状態でありましたEXTも、今にわかになら新クラブ結成の望みが急速に台頭して参りました。共に年度末まで手を抜かず、お互いに努力を続けて参りたいと思っているところであります。

又、地区年次大会アワードやらその他もろもろの事項等につきましてもR.C・Z.C各位の絶大なるご努力を得ることが出来、画期的な答伸を得るところとなり、之もすべてメンバー意識の変革を象徴するものとして心から敬意を覚えるものであります。

更に飛躍を目指すためのライオンズ機構の見直し、再検討は私にとって重大な関心事でありました。地区ガバナー候補者が早い機会に機能を得て、地区運営等が更に円滑に推移されるようにするため、ルテナントガバナー制導入を研究し、その考え方を次期へ伝達したい思いでありましたが、幸いにして卓越した人格識見にすぐれ、最も信頼できる寺嶋ガバナーエレクトが選出される運びとなり、これら政策上の諸問題を継承していただけることになりましたことは誠に喜びとするところであります。

これらの積み重ねこそが、将来的発展に有効に活用される糧になることを信じて疑いません。

末尾近くになりましたが、本大会成功のため献身のご努力をして下さいましたホスト各クラブ、並びに関係者の皆様方に深く御礼を申しあげます。

終りにライオンズクラブの益々の発展を念じ、併せてご参会皆様のご健勝、ご繁栄を心から祈念申しあげ挨拶いたします。有りがとうございました。皆さん、本当に有り難う。



We Serve

5月14日、天気予報は雨。しかし当日は薄日の差す絶好の大会日和。会場は、東洋一のショッピングセンターを擁する船橋市内「ららぽーと・大劇場」。登録希望計画1700名を大きく超える、2144名は満場を揺るがす大盛況。各部会手造りの大会演出企画は、プロ会社を凌ぐ見事な出来栄え。千葉県知事を始め、一般来賓を含め大きな感銘と喝采の渦の中、大成功裡に一切の行事が終了したことは、ライオンズ発揚のうえ大きな感激そのものであった。

先立って開催された代議員総会は、各分科会共活況に満ちたテーマ別討論、ネス、レオフォーラムが併催され、提出議案は総て原案通り可決、大会スローガン「話し合い、そして友情」の実をあげ、年間を通してメンバー意識の高揚を唱いつづけたガバナーズスローガン「高めよう、心豊かに、L字の誇り」の集大成は、見事に結実された総括感である。

他は、添付報告書類、大会記念誌、議案集等をもってご報告に代える。

333-C 地区ガバナー第35回地区年次大会会長 L. 小 泉 昭



ライオンズクラブ国際協会333-C地区第4回キャビネット会議 1989.4.28

地区ガバナーL小泉を讃ふ

惟れ時、平成元年皐月の十四の佳き日
ライオンズクラブ国際協会333C地区第三十五回年次大会
幕ひらく日
五〇万都市船橋に陸続と集ふライオンズメンバー
遠くまた近くよりららぽーと大劇場に結集
海を越えて釜山クラブからの李康守夫妻のご出席
浜風は薫風となりサンガーデンホテルの木々をゆする
午後一時三十分 いよいよ式典の開始
地区ガバナーL小泉 昭の入場
純白の制服に身を固め 令夫人と連れ立ちて
舞台に向ふ花道をしっかと歩む
会場を埋めた八四クラブ 十一ネスクラブ
四レオクラブから期せずして湧く拍手
それに応えて高く手を挙げほ、えむ温顔

333-C地区の先達として君は
任期中一貫の姿勢をつらぬき
話し合いと協調の路線を歩み
「高めよう心豊かにL字の誇り」をスローガンとして
掲げ施策へとおろし 今次大会にその成果を集約する
いま仕事を成し遂げた男の誇り

L・C・I・F三千万円金銭ACT
二億二千万円献眼登録七九名
会員増強九十八名
勇断ある討論集会のすゝめ 一本の灯はかすかなれども
四千の結集した明かりはあか／＼と
巨大な光明となり地域をてらす

式典はすゝみガバナーズキーの伝達
小泉昭ガバナーよりガバナーエレクトL寺嶋周三へと
手渡される
任終りしものより出発するものへの絆である
時代は移り 地域の変革はあれど
奉仕と友愛の灯は永久に続かん

平成元年五月十五日
第四R第一乙東庄L・C L 石橋長男
地区ガバナー 小泉 昭様



We Serve

333-C地区第35回年次大会議案集

指名選挙委員会

提出議案 次期ガバナー選出の件（地区ガバナー提出議案）

〔説明〕 次期ガバナー候補者は、柏LC所属 L. 寺嶋 周三 1名である。

〔決議〕 原案通り可決選出

提出議案 333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、334-A地区、L 篠田 博正を1989～91年度、日本選出国際理事候補者として推薦する。

〔決議〕 原案通り可決

決議委員会

会則・政策・会員・EXT・経理分科会

1号議案 次期アクティビティ・スローガンを『育てよう緑の大地住みよい環境』としたい。

提案：柏LC

〔決議〕 原案通り了承

2号議案 第25回全国身体障害者スポーツ大会への協力について（1989年9月30日～10月1日）

北海道札幌市に於いて『君がうて希望の鐘をエルムのまちに』をスローガンとして、成功させようをあいことばに希望と友愛のはまなす大会が開催されます。この大会を成功させるために、会員一人当たり100円の拠出金をお願い致します。

〔決議〕 原案通り可決

3号議案 国際花と緑の博覧会（花の万博・EXP90）MD335、335-Bより要請

1990年4月1日から9月30日までの6ヶ月間、大阪鶴見緑地で開催。同博覧会会場正面入口、地下鉄鶴見駅にわが国最初の沈床式駅前広場（ライオンズ広場）と身障者並びにお年寄りの方々の憩いのセンターを協賛建設する奉仕事業を決定。MD 335 森協議長から要請がありました。会員一人当たり600円の拠出金をお願い致します。

〔決議〕 原案通り可決



We Serve

○ 会則・政策・会員・EXT・経理分科会

司会・進行 L 皆川 春安

テーマ

- | | | |
|-------------------------|---------|---------|
| 1) 新入会員に対する研修会のありかたについて | 習志野中央LC | L 安斉 順 |
| 2) 女性会員問題をどう考えていくか | 千葉京葉LC | L 加瀬 利之 |

○ PR・情報分科会

司会・進行 L 森野 銀一郎

テーマ

- | | | |
|--------------------------------------|--------|---------|
| 1) 地区ニュースは従来のガバナーズレターでよいのか。又PR誌とするのか | 千葉若潮LC | L 中村 可夫 |
| 2) 地区ニュースの専門化について | 松戸中央LC | L 坂本 政次 |
| 3) クラブ会報の推進について | 柏中央LC | L 河目 敏明 |

○ 長期計画・リサーチ・指導力開発分科会

司会・進行 L 坂巻 豊国

テーマ

『奉仕活動への対応』

- | | | |
|--------------------|-------|---------|
| 1) 国際化時代における地域社会とは | 八千代LC | L 秋葉 琢磨 |
| 2) 合同アクティビティの展開 | 千葉LC | L 北村 泰彦 |
| 3) ライオンズの社会性 | 館山LC | L 村松 卓 |

○ YE・LCIF・国際協調分科会

司会・進行 L 望月 武峰

テーマ

『今後のYEプログラムに就いて』

- | | | |
|-------------------------|------|---------|
| 1) YEプログラム事故対策委員会設立に就いて | 館山LC | L 川合 敏夫 |
| 2) YE事故災害緊急援助資金の設立に就いて | 光 LC | L 椎名 英夫 |

○ レオ・ライオネス分科会

司会・進行 L 加藤 悦太郎

テーマ

- | | | |
|----------------------|--------|---------|
| 1) レオ委員の責務と任期について | 船橋中央LC | L 鈴木 利一 |
| 2) レオ活動の効果について | 富津LC | L 三辻 敏夫 |
| 3) ライオネスクラブ結成と利点について | 市原南LC | L 斉藤 義雄 |

○ 献眼推進・薬害糖尿病教育分科会

司会・進行 L 越川 浩一

テーマ

- | | | |
|--------------------------|------|---------|
| 1) 麻薬と覚せい剤乱用の現況とその対策について | 銚子LC | L 郷 定男 |
| 2) 腎バンク設立について | 佐倉LC | L 桜井 英一 |



We Serve

○ ライオネスフォーラム

司会・進行 L小谷 八十吉

講演

テーマ 『婦人と奉仕について』

講師 (社)倫理研究所 鈴木 かね子先生

○ レオフォーラム

司会・進行 銚子LEOクラブ LEO 田中 実

講演

テーマ 『青少年とレクリエーションについて』

講師 (社)倫理研究所 小森 美飯 先生

各複合地区大会共通提出・複合地区会則改正案

◎複合地区会則の改正について（ガバナー協議会議長提案）

（説 明）国際協会の方針（改正案①）およびデンバー国際大会における会則改正に伴い（改正案②③④）、複合地区会則を次のとおり改正したい。

①「第9条 ライオン誌日本語版」の第1項を次のとおり改める。

1. 国際協会が直接発行する公式雑誌とは別個に、国際理事会の方針により、複合地区は他の複合地区と共同して共通のライオン誌日本語版を公式に発行する。

ライオン誌日本語版は、国際理事会の全面的な統括監督のもとに発行され、複合地区のガバナー協議会議長は他の複合地区のガバナー協議会議長とともにその監督に当たる。

②「第16条 II. ルテナント・ガバナー」に下記のとおり(c)項を追加する。

(c) ルテナント・ガバナーが死亡その他の理由により空席となった場合は、地区ガバナーは、現キャビネット構成員と、当該地区に所属する元国際会長、元国際理事および元地区ガバナー全員の出席を求めた会合の議決をもって補充することができる。

③「第18条 キャビネット構成員」の1-(c)項を次のとおり改める。

(c) その他地区ガバナーの任命する地区委員長

④「第19条 地区委員」を次のとおり改める。

第19条 地区委員その他

地区委員および第18条1に規定される以外の者は必要に応じ地区ガバナーによって任命される。その任期は第18条4に準ずる。



We Serve

分科会シンポジウム・収録

会則・政策・会員・EXT・経理分科会

顧問：L吉原 稔人 司会進行：L皆川 春安
 委員長：L渡辺 惇 記録係：L毛利 隆一
 副委員長：L片岡 和
 〃：L富士原 勇 代議員数：80名



- (1)本委員会に対する3件の提出議案については、いずれも原案の通り満場一致で可決した。特に付け加えることはない。
 (2)続いて、2つのテーマに従って研究討議を行った。二人のスピーカーが要領よく問題提起され、これを中心に活発な討議が行われた。和やかなうちに討議が盛り上がり、短時間ではあったが成功した分科会であった。時間が足りなかったくらいである。以下簡単に当日の発言を要約しておく。

<テーマ>

1) 新入会員に対する研修のあり方について

スピーカー：習志野中央LC L安齊 順

- LC 5年生である。未だベテランと云うわけには参らない。
- 自分は昔の職業軍人であり、昭和15年に入隊し、英語は敵性語といわれて教育された人間。入会当初、LCの言葉やマナーには誠に馴染みが薄く違和感を持った。その当時はこのような基本的知識について研修して貰いたいとおもっていた。
- しかし、5年経過してみると、LC用語もマナーも自然に覚えてきたし、最近は違和感も薄れ親しみすら感じられてきた。マナーとか用語は必要に応じ自然に覚えるものであると実感した。
- しかしアクティビティの精神については、自然に覚えると放置している訳には行かない感じを持っている。すなわちLCに入会するまで、自分には奉仕活動など無縁で、何処かの他人の行動に過ぎなかった。それがLCに入会する事により、皆さんと共に奉仕活動に汗を流さざるをえない事になり、またアクティビティの喜びをも経験することになったのである。
- 今や胸を張って、LCはアクティビティであってこそLCであるという言葉が吐くことができる。初期の指導者に人を得た、と深く感謝している。
- その経験から、新入会員に対するアクティビティの精神の涵養こそ大切、用語やマナーの教育は2次的なものと考えている。
- 「釘は熱い内に打て」の言葉もある。新入会員の内にLC精神の真髄を経験させ理解せしむべきである。そのような研修は如何にしたら可能であるか、方法を研究して貰いたい。
- アクティビティを受けるほうも、与えるほうも喜びを感じ、心に残る奉仕を経験させ教えてこそ本当のライオンズマンが誕生する。それを教えることこそ新入研修であると考えている。



We Serve

—佐原LC L 小笠原の発言の要旨—

- 新入会員の多くは、LCを真には理解せず、勧誘されてただ漠然と入会してくるのが現状であろう。さればこの研修は是非とも必要な事である。
- その研修会でキャビネットの役員が長々と挨拶し、肝心の研修時間が少なくなるような事ではいけない。新入会員を交えて討議することが必要で、そのための時間を十分に取らなければいけない。
- 新入会員に経験して貰い、発言して貰う事が大切。一方通行の講義では何も身に付かない。
- 研究討議こそ大切。その意味で従来の新入会員研修会は、講師が喋り過ぎである。ご高説拝聴に終わっている。
- 自身講師を務めた経験もあるが、自分の経験を具体的に話したところ好評であった。
- 入会させておいて後は放置は最もいけない。

—印西LC L 吉野の発言の要旨—

- 新入会員は、所属するLCの実情のみを眺め、他のLCの姿や全体像を知らない。そのため勝手な行動を罷り通らせている嫌いもある。
- 雑談でも良いから、積極的に発言させ、問題意識を持たせると同時に、すべてのクラブ員が新入会員を大事にして行かなければならない。

—市川LC L 吉原顧問の発言の要旨—

- 研修のあり方は、アメリカと日本では大きな差異がある問題の一つ。
- アメリカはどちらかと云うと知識偏重主義、日本は精神に重点を置いているといえる。どちらも重要であろう。
- 新入会員を積極的に理事会に投入し、討議に参加せしめよ。また最も活発な委員会に所属せしめLC活動を経験させよ。それこそが新入会員に対する必要な研修方法である。

—東庄LC L 高橋の発言の要旨—

- 新入会員をお客さん扱いをしてはいけない。3年も経てば「こんな程度の事でよいのか」と自己流の解釈を身に着けてしまう。それから教育しても最早手遅れである。
- そうかと云って、いきなりなんでも押し付けて、一人でやってみろではなおいけない。退会に追い込むような心ない仕打ちである。
- 結局、古い役員と分け隔てなく、一緒に汗を流しながらやって貰う事に尽きるであろう。

最後に、参加者全員で「新入会員こそはクラブの宝である。これをどのように教育し、磨き上げて行くかはクラブ員全員の責任である。各地区各クラブで苦心を重ねて行かなければ成らないと確認し、本テーマの討論を打ち切ることにした。

2) 女性会員問題をどう考えて行くか。

スピーカー：千葉京葉LC L 加瀬 利之。

- LCメンバーに女性の参加を認めるに至った経過をよく纏めて、報告された。とにかく1987年の台北における国際大会以降、女性の加入が正式に認められた。
- 姉妹提携の関係にあるハワイ・ワイキキのLCでは、例会その他の行事もほとんどすべて妻を同伴して行われており、事改めて云々しなくとも女性もLCの役職を持ち、活躍している。このような姿を見ていると、女性会員問題も何の違和感もない。
- しかし果たして日本の実情において同様に論じられるであろうか。問題なしとしない。
- 例えば例会時間帯の問題、会費の負担能力の問題、男女問題のスキャンダルの発生等々。
- 女性の加入については、十分検討し、慎重に取り組むべきである。



We Serve

- LCの現状が「お金持ちの遊びですね」といわれているようでは、女性加入は問題である。私達はこの問題を解決していく責任がある。

—東庄LC L 高橋の発言の要旨—

- 同クラブはC地区内で唯一の女性会員が存在する。
- 加入の経過は夫君がLCメンバーであられたところ過日死亡された。
- 同女よりこれまで親しくしてきたLCと疎遠になってしまうのは寂しいので会員になりたいとの申し出があり、喜んで受け入れた。何の問題もなく和気藹々活躍されている。との紹介あり。満場感動の面持であった。

この問題は、男女平等の歴史的経過の中で捕えるべき事柄であろうが、30年後の日本ではこのような問題に違和感を持つ人間の方が珍しくなるであろう。

そうであるとするならば、今から真剣に研究し取り組んで行かなければならないと締め括り、討議を終了した。スピーカーを始めとする参加者全員の皆さんの熱心な態度と意気込みに心から敬意を表するものである。

PR・情報分科会

顧問：L秋場 寛 司会進行：L森野銀一郎
 委員長：L小石 税 記録係：L田中 秀夫
 副委員長：L川尻 誠一

代議員数：68名



〈テーマ〉

- 1) 地区ニュースは従来のガバナーズレターでよいのか。又、PR誌とするのか。
 スピーカー：千葉若潮LC L中村 可夫 欠席の為、地区PR情報委員長 L小石 税
- 2) 地区ニュースの専門化について
 スピーカー：松戸中央LC L坂本 政次
- 3) クラブ会報の推進について
 スピーカー：柏中央LC L河目 敏明

—意見発表—

- 3R2Z 千葉ポートLC L森野 銀一郎
 地区ニュース作成内容について、(1)テーマを良く研究し、内容の充実を希望する意見あり。
- 1R3Z 柏LC L萩原 宏
 PR面に市民の記事を含めてのPR誌としたらどうか。
 委員長のテーマを掲げて、年2回位市民にライオンズのあり方のわかる様な広報誌としたらどうか。
- 4R1Z 東庄LC L石橋 長男
 クラブ会報作成について、地区ニュースにより指導的な記事を組入れて欲しい。尚、発行部数、単価についての報告等について地区ニュースに依る情報をどの様に考えているか。
- 1R1Z 浦安LC L鈴木



We Serve

地区ニュースの専門化については賛成であり、専門的な編集により、1項の内容についても良い結果になると思う。

●地区PR情報委員長 L小石 税

専門化の意見に対し説明。PR誌作成等について研究会等開き、もっと研究されたPR誌を作成したらどうか。

●2R2Z 習志野LC L中里

年一回広報誌を作り、折り込みにより市民に報告並びにPRしている。反響のある事業として、障害児の水泳教室等を開催、又障害者家庭に対する奉仕活動等広報誌を利用して市民にPRしている。

●3R2Z 千葉中央LC L矢田 常吉

PR情報は不十分であると思われる。地区から各クラブに対する情報伝達が悪い。クラブ内に於いて何をやっているのかよくわからず、考え方によっては退会にもつながる。本日の提案事項については、全面的に賛成でありもっとPR情報委員会の活動に力を入れて欲しい。

●顧問 L秋場 寛

まとめの言葉並びに今後の協力依頼

『結び』 地区PR情報委員長 L小石 税

- 1)・2) 項については研究課題として進めて行きたい。
尚、クラブ会報のまとめ方に於いても研究して行きたい。
- 地区ニュース編集委員の専門化研究会の設置

長期計画・リサーチ・指導力開発分科会

顧問：L榎 智光 司会進行：L坂巻 豊国
 委員長：L大塚 喜作 記録係L：土屋 敏一
 〃 ：L中村 清成
 副委員長：L滝口 政雄 代議員数：69名



〈テーマ〉

奉仕活動への対応

1) 国際化時代における地域社会とは スピーカー：八千代LC L秋葉 琢磨

国際会長の『変化への挑戦』のなかで奉仕活動の見直しもあります。我々の奉仕活動も規模の拡大さを考える必要も迫られている現状について……地域奉仕は自己の地域を固め、Z・R・地区・全日本周辺諸国との連帯性と遂次、段階的、格段化が大切ではないか。

日本経済の発展は国民生活も社会福祉行政も充実した環境の中では、ACTの方向は当然対応の変化を求められることは必要であるとの発表指摘であった。

2) 合同アクティビティの展開 スピーカー：千葉LC L北村 泰彦

最近のアンケートを基礎にした発表者の考察は、現状把握・動向に説得力があった。注目すべきは『趣旨に賛同した時に参加する』と積極参加を含めると82%近い合同ACTに対する理解が示されている点と、諮問委員会は開催されているが諮問がなく、この機能を活用しての種のものも含めて諮問し、活性化を図ったらどうか。

いずれにしても、上記2項目は複合地区年次大会、同分科会と同種のものであり、C地区ではこのようであった。



We Serve

複合での統合結果に注視したい。

3) ライオンズの社会性

この問題は勇氣ある画期的な発表である。ライオンズは物と金を出して奉仕しているが、反面発生する社会時事問題に無関心である。ライオンズは奉仕のみで、後は世の中どうあれ構わないのかというような社会的没個性に近い団体ではないか、との疑問。ライオンズの目的に『政党・宗派の問題を討議してはならない』とあります。この表面的な字句に惑わされ本質を鈍らせている。討議してはならないということは、政党の政策、宗教の教義に伴う精神的支配を指すことであり、特定な擁護もしくは援護に類するものは、ライオンズに持ち込むことではない。それは個々の通常社会での席であって、ライオンズの席ではない。この辺の鶴呑の解釈がLCの没社会性にあるのではないか。

道徳綱領の中では「国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、変わらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と質力をささげること」

スローガンには「自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる」掲げられた字句を吟味すれば、何が主で何が従であるか判断の資としたい。

今回のリクルート問題にしても日本は倫理のない国と批判されているという。(新聞記事) このことはライオンズマンとしてではなく、一日本人の公民の義務としても我々はどう受け取るべきか。新聞・テレビ・マスコミを通じ、首相を始め国家を指導して行く人々が責任転嫁一痴らを切る。証拠が出てから認める。言葉では道義的倫理を述べながら行動は伴わない。恥知らずの現実。こんな姿が次代を継ぐ子供達にどんな影響を与えるか。悪いことをしてもどこまでも痴らを切ってやれ。そんな心因的な悪影響を子供達に与えはしないか。これからの日本の将来にも、一番大きな憂うべき問題だと思います。

このような憂うべき大きな社会問題に対して、ライオンズは奉仕のみで、没社会性であってよいのか。こんな時にこそ、ライオンズ全体の見識と英知を結集し、時事問題に警告・提言等を公表し、世に問うべきではなからうか。

それは政治宗教の問題と取り違ふことなく、国の安全を守るためへの、良識ある社会環境を育てるためへの積極的行動であり、ライオンズの持つ高度な心の奉仕ともいえる。それを我々は等因視していたのではないか。ある意味では良識は微温的なものとなり、本質に対する掘下げもなく、無批判に従順に与えられたものを、混乱もなく踏襲して来たのかも知れない。

年間80億円以上の金銭ACT奉仕をしながら、今日必ずしも地域社会の人々がライオンズの存在を知らないことも事実。それに迎合するのみではないか。認識は正当に受けることはライオンズ自体の活性化、その他諸々の点に多く得るものがあることは、想像に任せたい。

いずれにしても「リクルート事件で分かったことは、この倫理を教える立場に立てる人が、日本の社会に見当たらないことだ」と新聞記事にあったが、失望することもない。ライオンズを指導する立場の人々が、ライオンズの根本理解を更に深め変化する社会に対応する理念を確立し、施策することは、末端会員の人々により多くの恩恵と誇りを与えるものだと思います。

ものごとの根本が理に治っておれば、それにつながる枝葉末節は正しく繁茂する。以上が当分科会発表テーマの結果集約です。3項のテーマについては時間の都合により、割愛した部分の意とすところを伝えるため、発表者に確かめ纏めたもの(文責 L中村)



We Serve

YE・LCIF・国際協調分科会

顧問：L 齊藤 貞雄 司会進行：L 望月 武峰
 委員長：L 山内 克己 記録係：L 青木 孝
 ♪ ：L 名取 駿
 副委員長：L 松本 良夫 代議員数：64名
 ♪ ：L 後藤 隆一
 ♪ ：L 物部 重夫
 ♪ ：L 保科 嘉彦
 ♪ ：L 川合 敏男
 ♪ ：L 河野 悟郎



<テーマ>

今後のYEプログラムについて

- 1) YEプログラム事故対策委員会設立について スピーカー：館山LC L 川合 敏男
 2) YE事故災害緊急援助資金の設立について スピーカー：光LC L 椎名 英夫

1. 討議内容

テーマ1) について館山LC・L 川合敏男、 2) について光LC・L 椎名英夫から次のように提案趣旨の説明があった。

YEプログラムは、ライオンズクラブのアクティビティとして重要な役割を果たしている。YE生の事故は絶対にあってはならないが、全く無いとは断言できない。もし事故が起きた場合、誰がどう処理したらよいか、また、当座必要とする経費は何処から出すのか事前に準備がなされていない。地区YE委員のみでは対応できないし、保険金は直ぐには役には立たない。従って事故対策のための組織を設立するとともに援助資金の準備をして、事故が起きた場合直ぐに対応できる体制がYEプログラム活動のため直ぐに必要である。

提案趣旨の説明のあと討論に移り、YEプログラム事故対策委員会設立及びYE事故災害緊急援助資金の必要性について分科会代議員に採決を諮ったところ、全員の賛同を得た。

全員がそれらの必要について賛同したので、委員長から今期は時間的に間に合わないで直ぐに準備にかかり、来期の地区大会に両者の設立案を提出したいとの提案があり全員の了承を得た。

2. 結論

YEプログラム活動のため、YEプログラム事故対策委員会設立及びYE事故災害緊急援助資金の必要性を認め地区YE委員を中心に設立準備にかかり、成案を得て来期の地区大会に両者の設立案を提出する。



We Serve

レオ・ライオネス分科会

顧問：L杉浦 明 司会進行：L加藤悦太郎
委員長：L鈴木 利一 記録係：L北沢 庸雄
副委員長：L伊藤 實
代議員数：58名



<テーマ>

- 1) レオ委員の責務と任期について スピーカー：船橋中央LC L鈴木 利一
1. 青少年健全育成はライオンズ活動の中で最も重要な事業であるので、レオクラブの育成と結成について全力を傾注する。
 2. 地区として青少年育成のための指導者研修会を開催する。
 3. レオ委員の任期については地区で申し合わせ事項であるように、各クラブ共任期を2ヶ月延長する。
- 2) レオ活動の効果について スピーカー：富津LC L三辻 敏夫
1. レオクラブの会員になる事により、礼儀、規則、約束、整理整頓、積極性等にすぐれた社会性を身につける事が大切。これがため組織のあるレオクラブ結成に地区として積極的に推進してほしい。
 2. レオクラブ結成のための資料の配布が必要である。
- 3) ライオネスクラブ結成と利点について スピーカー：市原南LC L斉藤 義雄
1. 女性の集団組織は大変むずかしい。組織人としての楽しさを助言することにより結成は容易にできる。
 2. ライオネスクラブの利点はクラブにとって最大の協力者であり、又既存のクラブ活動については議論の余地がい程、活発な活動をしている。
 3. 複合地区に於いてクラブ数が少ないので、結成に地区をあげて推進したい。
- 以上、レオ・ライオネスクラブの広報活動を積極的に実施する。

—質問又は意見—

君津LC L正木

レオについて

- Q. レオ顧問研修会はありますか。
A. 次年度は是非実行したい（委員長）
Q. レオ海外研修はありますか。
A. 年齢差があり、交渉はむずかしい（委員長）

東金LC L大松

レオ委員の任期延長については運営上の都合で重複して行うようにした方が良い。

柏グリーンLC L寺島

- Q. レオクラブ5クラブ内4クラブ残っている。消えたクラブの原因は何か。
A. 指導者不足や他団体との競合にあると思う（委員長）



We Serve

館山LC L吉田

レオ・ライオネス共に持っている。レオの年齢、魅力、資金、彙、指導者等問題多く大変である。ライオネスはライオンレディーがメンバーであり(21名) 今後は、他クラブへも声をかけて増員をして行くつもりである。

〈まとめ〉 顧問 L杉浦 明

「本日は皆さんの御熱心なる意見を有り難う存じました。館山LCの吉田Lの御意見はもっともであります。年齢層と指導者問題が第一と考えております。次期ガバナーにも申し伝えます」

献眼推進・薬害・糖尿病教育分科会

顧問：L橋口 一夫 司会進行：L郷 定男
委員長：L高橋 弘 記録係：L鈴木 正興
 ：L大島 博

代議員数：63名



〈テーマ〉

- 1) 麻薬と覚せい剤乱用の現況とその対策について スピーカー：銚子LC L郷 定男
- 2) 腎バンク設立について スピーカー：佐倉LC L桜井 英一

〈報告〉

1. 麻薬と覚せい剤乱用の現況とその対策について

L郷 定男より県警本部の資料により説明あり。覚せい剤乱用とシンナー乱用少年の増加と傾向について説明があり、又、糖尿病教育についてはクイズ等の引用により予防についての啓蒙と勉強会のすすめがあった。

2) 腎バンク設立について

L桜井 英一より、腎バンク設立について経過と現況について説明があり、今年度に引き続き次年度も特別委員会をもって研究を続けていきたいとの意向が出された。

ライオネスフォーラム

顧問：L平井 勇 司会進行：L小谷八十吉
委員長：L野村 久治
副委員長：L鈴木 重司
 ：L高橋 宮男 参加者数：125名



—ライオネスフォーラム委員長挨拶—

「皆さん今日は。年一回333-C地区のライオネスが一同に会し行われるライオネスフォーラムも11回目となりました。この様に多勢の皆さんの参加を得て盛大に行われます事は、皆さんの協力の賜物と深く感謝致します。日頃は各ライオネスクラブともお忙しい中を会長を中心にクラブ運営に、又地域社会に対し女性ならではの特徴を生かした、きめ



We Serve

細かな奉仕活動、頭の下がる思いです。

最近のニュースに見る暴走族の目に余る行為、動物園に見られる子育てしない親、どうして子供を育てないのでしょうか。人間社会も同じです。私達の身近な処でも最近有りました。親の愛情を知らずに育った子供が親になっての行動でしょうか。

私は20歳前後の時期を海軍の兵隊として軍隊生活を送りました。その中で昭和19年の9月21日から20年8月15日の終戦まで、約1年間は、フィリピン戦線のマニラで爆撃、砲撃、銃撃の中をくぐり抜け、食料もなく餓死して行く多くの戦友。マニラにいた約15,000人の内、生き残った者はわずか500人位でした。私も終戦後3ヶ月経って体重を計った時、30キロちょっとでした。本当の餓死寸前だったのです。思い起こせば忌まわしい数々の場面が脳裏にうかんできます。死んで行く多くの戦友の最後の言葉は「お母さん」という5文字です。母は偉大です。二度と戦争はあってはなりません。今の世相を思うとき、経済力の豊かさも必要でしょうが心の豊かさはより必要ではないでしょうか。21世紀を担う青少年の健全育成こそ、日本のライオンズの第一に考える奉仕だと私は思います。ウィサーブ有るのみです。親睦を深め、一層の御活躍と皆様の御健勝を祈念致し簡単ですが御挨拶と致します。

— 講演 —

テーマ「婦人と奉仕について」

講師：(社)倫理研究所 鈴木 かね子先生

— 報告 —

1. 各クラブの活動現況について質疑応答の時間と、講師による講演の時間どちらも足りないように思いました。この点に就いてライオネスの皆さんに問い、時間の関係上、各ライオネスクラブで後日検討し、次年度フォーラムの参考にまとめておくように提案した。
2. ライオネスクラブのEXTに、各ライオネスクラブ共協力するように依頼す。

レオフォーラム

顧問：L藤田 定男	司会進行：銚子LEO クラブ
委員長：L高木 仙造	LEO田中 実
副委員長：L石井 三郎	記録係：L三辻 敏夫
：L本田 輝司	参加者数：44名



—レオフォーラム委員長挨拶—

「皆さん今日は。今日は日曜日であり遊びたいところと思いますが、このフォーラムに参加したことは今後必ず参考になると思います。これから小森先生のお話がありますのでよく聞いて下さい。ただ、勉強するだけでなく、遊ぶことは大切です。まず礼儀正しく、常に感謝の気持ちを持ち、そして人に対する思いやりの心がだんだん揃ってくることにより今後必ず皆さんが「リーダー」となり、明るい社会づくりに役立つことと思います。これからも大いに学び、大いに遊びそして立派な社会人になるようお願いし、ご挨拶といたします。



We Serve

CABNEWS

—クラブ活動状況報告について—

各クラブとも、年初計画に沿って適切に運営されていると感じた。会員の少ないクラブは今後会員の増強、その他100%出席率を目指して会の運営に努める。夏期・春期を通じての研修会でマナー等勉強したい。

以上各クラブの今後の反省点を通じて、立派なクラブになるものと思われた。

—講演—

テーマ「青少年とレクリエーションについて」

講師：(社)倫理研究所 小森 美飯先生

—レクリエーションゲーム指導について—

最初は非常におとなしかったが、小森先生の指導力よろしく、別添プログラムによる、だるまさんが言いました・カミナリさん「ゴロ、ゴロ」・ジャンケン手たたき等のゲームを通して指導の結果、子供らしく会員同志和やかになり、時間も足りない程で意義のある指導であった。

成田グリーン
ライオンズクラブ 3R-2Z

結 成 式

3R-2Z 成田平成
ライオンズクラブ

平成元年5月25日(木)

ホテル日航成田にて結成式。日本 2926番目として誕生。333-C地区 85番目の会員数 36名。スポンサークラブ 成田ライオンズクラブ



平成元年6月7日(水)

成田ビューホテルにて結成式。日本 2928番目として誕生。333-C地区 86番目の会員数 39名。スポンサークラブ 成田ライオンズクラブ



—小泉ガバナー挨拶—

平成元年、記念すべき年にクラブが誕生しました。同志の一員として参加して頂き、感謝申し上げます。

ライオンズクラブはウィーサープの理念に基づいて世界に広まってきて、164ヶ国にライオンズの輪が、奉仕が広がってきている。社会主義国にも、ライオンズクラブが広がろうとしている現状です。

日本で35代、C地区(千葉県)30代の会長が誕生します。新会員の皆様、単にライオンズクラブの会員になったと云

成田グリーンLC 3R-2Z

結 成 式

成田平成LC 3R-2Z

うだけでなく、ライオンズクラブの国際協会の一員となった事を基本的に胸に刻んで頂き度い。種々の規約はあるが堅苦しく考えないでおおらかに、楽しいクラブライフに、そして地域社会に奉仕活動をお願いします。

新クラブ誕生に際して、成田ライオンズクラブ会員皆様の御努力、御苦勞様でした。深く感謝申し上げます。



小泉ガバナーより、成田グリーンライオンズクラブ会長 品田努 Lヘラベルボタン贈呈、会員一人一人にラベルボタンが手渡されました。



小泉ガバナーより、成田平成ライオンズクラブ 赤海守 Lヘラベルボタン贈呈、会員一人一人に、ラベルボタンが手渡されました。



新五役紹介



新五役紹介



新会長 L.品田 努 挨拶

新クラブ誕生に際しては、成田LCの会員の御尽力により結成されました。ライオンズの誓い、モットー、スローガンを趣旨として地域社会に奉仕、会の親睦、友情を図りながら、誇りあるライオンズマンとして、今後精進する所存です。

ブラザークラブの御指導、御協力の程、宜しく御願いたします。



新会長 L.村木宣夫 挨拶

新クラブ誕生に際しては、朝起き会のメンバー（早朝の勉強会）を中心に結成されました。ライオンズクラブの基本理念に基づき、期待にそう楽しく、面白いクラブに、計画性をもってどんどんやって行き度い。

スポンサークラブ、ブラザークラブの御指導のもとに名に恥じない活動をする所存であります。御協力の程、宜しく御願いたします。



We Serve

成田グリーンLC 3R-2Z

結 成 式

成田平成LC 3R-2Z



成田平成ライオンズクラブ結成会



ご挨拶 スポンサークラブ成田ライオンズクラブ会長 L.太田家広

今度び成田グリーン、成田平成、新クラブ結成の運びとなりました。ライオンズクラブ国際協会333-C地区ガバナー小泉L、日本駐在員堀越L、キャビネット幹事木下L、EXT委員長渡辺L、3Rリゾンチャーマン竹久L、キャビネット役員の皆様、ゾーン内各クラブ会長、幹事の皆様方のおいでを頂きまして、新クラブ結成承認を頂き、晴れてここに結成式を迎えることが出来ましたことは親クラブとして大変よろこばしい事と存じます。新しいクラブメンバーの方々、本当におめでとうございます。心より御祝を申し上げる次第でございます。

新生クラブ誕生により、ライオンズの基本理念である、地域社会に更に大きな輪が広がることになるわけで、我々も大変心強く思っているところでございます。

我々同志一同、共に高い見識と自覚を以って変化の時代に対応し、社会的信頼のもとで、よりよい心豊かな地域社会作りに貢献してゆこうではありませんか。成田グリーンクラブ、成田平成ライオンズクラブの今後の発展を心から祈念いたします。



ウイサーブ、 3R. RC L.竹久定雄

昭和から平成へ移り、新しい時代に対応する流れが来ている。新しい同志を迎えて、ライオンズの誓いに集約され奉仕の理念であるウイサーブの言葉で表現されています。

同じ同志としてウイサーブの道へ進み度い



ウイサーブ、 333-C地区 キャビネット幹事 L.木下努

成田平成ライオンズクラブ、結成おめでとうございます。新クラブの今後の益々の御発展を祈念いたします。



We Serve



改革への挑戦 CHALLENGE OF CHANGE

333-C地区元ガバナー L. 榎 智 光

1988・7・2 デンバーで行われた現ライオンズクラブ国際会長AUSTIN P.JENNINGSが国際会長就任演説の中で、私は今、この偉大な国際協会を世界で最も活発、かつ最も尊敬される奉仕組織にならしめた人道主義的理想とそのプログラムをさらに広めていこうとしている。国際第3副会長就任以来3ヶ年間、慎重に熟慮研究の結果、会員の皆さまに、ライオンズ・クラブの改革への挑戦の必要性と重大性を提言することとした。近づく21世紀に向けて、世界の情勢は大きく変化している。社会活動、を指命とするボランティア団体組織と雖も、その世界の情勢の変化に立ちおくれぬ様、いやその変化の先取りをして対応してゆくべきものとする。故に、常に、現状に止るものはマンネリ化、衰退し、実はその存在価値のない団体となってしまうであろう。故に、吾々ライオンズクラブはその発生の原点を認識すると同時に、常に、反省と前進、改革の努力を怠ってはならぬと考えるものである。

故に、私はジェニング国際会長の改革への挑戦を常に原点を忘れず、反省と前進、改革と受け止めている。

以上のジェニング国際会長の提言をうけて吾が333-C

地区では、1989・1・20千葉県労働福祉センターにおいて、第1回全体討論会がもたれ、吾が小泉 昭地区ガバナーの説かれるライオンズクラブ改革への道づけに参加会員の理解と、強い共感と、意欲を盛り上げる事ができた。県下各L.Cを代表する100有余名が出席し、平日にも関わらず延々と4時間を超す熱心な討論が展開された。その結果を良く整理され、且つ、〈参考資料〉として、ガバナー公式訪問時におけるQ & A (抜粋)とを添え巻冊の収録とされた、会員に対する深い思いやりと、L.Cへの深い愛情に対して限りなき敬意と感謝とを捧るものである。

反省とは、改革とは何ぞや

先づ、自分自身の個人の段階に初まり、単位クラブ、ゾーン、リージョン、準地区の運営(年次大会)、複合地区の運営(複、年次大会) etcの各段階に亘るものである。亦、両年次大会の相互関係等、もある。鬼に角、勇気をもって手近なできるところからコンセンサスを持ち乍ら実施にうつしてゆくことが、肝要であろう。

比の度のジェニング国際会長の提言である改革への挑戦は、吾らが蛮勇を以って当らねばならぬ警鐘でもある。

前記の第1回全体討論会収録と、過る第35回複合地区年次大会(十日町市)前に各クラブを通じて全会員に報告された複合地区長期計画委員長 佐藤貞夫P. G主唱により全クラブを対象に実施された「奉仕の在り方」のアンケート集録、の二書は、吾々会員の必読の書であると同時に吾々ライオンズ会員の座右の銘とすべき書でもあることを銘記する。

国際化時代における地域奉仕とは

八千代LC会長 L. 秋 葉 琢 磨

平和と飛行機の発達により、今世界は非常に狭くなって来た。この飛行機も4年後には更に国際化が進み、発注に対応し切れないという。やがて日本の高精能の飛行機が開発され空を支配するという。大気圏を通過し、日本 → パリ間2 hoursの時代が来るという、地球社会地球familyの言葉の如く世界平和への変化進展は著しい。

日本における著しい変化は①高令化、②女性の社会進出(女性Lの加入増加)③OA化(コンピューター化)④国際化である。International Lionsは日本に生れ36

年になる。今こそ日本Lとして自治権(独立)を得て如何だろう。

その国際協会目的は①世界人類の相互理解②地域社会の生活文化、福祉及び公德心の向上③友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。④一般関心事へのFree discussion ⑤そしてWe serveである。

さてInternationalとは良悪両面にある、日本ではUSAより血液輸入によりエイズ汚染、B型肝炎の増加、外国人不法労働者10万人、逮捕者14,000人、土木建築、飲食風俗業に多いバングラディッシュ、パキスタン、フィリピン人、日本農家でのフィリピンを始めとする外国人嫁



We Serve

さん探し、ブラジル移民3世4世の日本就労希望の増加、中国人口の労務輸出、外ではハワイ、米国本土、オーストラリアの土地建物の日本人による買収、海外企業への単身赴任者の増加、老若男女の海外Short、Long Stay、海外旅行指向、国策としての海外援助資金の増額、内外での民間による多角的な国際交流、今日本の若い女性は5人に1人良い意味の国際交流を望んでいる。小学校高学年教育でも既にコンピューター回施での英国との相互交流が始っている。繁栄の裏の日本も2000年には72万人の各労働者不足となる。中国人の労務輸入となろう。

地球的に外より日本を眺めると、経済技術大国であり、治安は良く、外国人には一般に親切で、日本語は出来なくとも総じて日本は「天国、だと公言している外国人は多い。そして「是非一度日本を訪れてみたい、と彼等は叫んでいる。ちなみにバングラディッシュのGNPは、日本の $\frac{1}{100}$ 、パキスタン人の月給は14,000円、フィリピン看護婦は月給12,000円、16万人の正看護婦中9万人はUSAへ。

国際的にも今日本の時代 → 即ち幕張メッセ、国際空港のある千葉県の時代であるという。世界総人口約54億、Lionsは163ヶ国、LC Members 1,355,166名、日本156,637名 (2,887クラブ) 千葉県84クラブ 3,853名

(1/31 '89現在 USA 15,931クラブ 524,050人 ↓ 日本2位 ↑ ③インド 2,648クラブ 111,803人 ④カナダ 2,648クラブ 111,803人)

常にLionsはInternationalであり、Lの原点を良く理解し、今大きな視野に立ち、国外、国内への変動に同化し、We serveを再思考し、行動して行かねばならない。

奉仕とは元来「神と人間との関係であった、のだが、Lionsでは人間同志にどう展開してゆくか、即ち、Manthly report に金銭ACT、労力ACTとして提出を義務づけられているが今は心の奉仕、精神ACTも加えるべきである。若いLと、老Lの労力の区別も必要である。

地域とは単一クラブ内、例えば八千代LCにおける八千代市、人口146,742人 → Zone → Region → District → Country いづれも地域の意・地域社会の観点より地域とは東洋東南アジアを指してもよい。

次に奉仕活動の在り方について過去のアンケート結果より報告してみよう。

質A 国際化時代にあふさわしいものとして今後最も進出

すべきACT

- ①YEプログラムの一層の充実強化
- ②在日留学生(私費)、就学生(専修学校、日本語学校、各種学校)の生活支援、交流促進
(千葉県25,226人 東京、神奈川、埼玉、千葉31万人)
私費留学生在が特に困窮
- ③国際理解に資する講演会、フォーラム等の開催
- ④海外困窮地域への救援活動強化(LCIF)

質B 国際化時代に対応するためのクラブで最も重視していること

- ①青少年少女交換プログラム(Y.E.)国際姉妹クラブ提携等による国際交流の促進

Leo活動の海 ↔ 山交換も含めてほしい(私見)

- ②Lions Club 国際財団(LCIF)への献金強化
- ③Lions誌、国際化他についてGast speech等によるクラブ内研修強化

質C 国際的奉仕と地域内奉仕との最も望ましい関係

- ①両者のBaranceを取って行くべきである
- ②地域内奉仕を、眼にみえる中心に考えて行くべきである
- ③国際的視野に立った奉仕の比重を増やして行くべきである。

以上の順となっている

即ちInternational奉仕としてはYE活動は如何の国でも活性化され、特に千葉県は自主性の意気込みが強く感ぜられる、LCIFと共に地方自治的存在を認めてもらっては如何。問題として提起したい。ちなみにLCIFの繰越金は25億ある。私達の眼よりは遠い存在であるRotary clubは60億の基金、Lは15億の基金?

総じてLionsの伝統的に最大の力を注いで来た二つの奉仕分野は青少年少女育成と保健(糖尿病、災害教育、献眼、献腎、献血も含め)であり、青少年少女の「就業適性、を進める活動を世界的に展開する時が来ている。即ち、日本でも大学は卒業したけれど働かず、目的のないFree arbeiterが多い、AIDSをはじめLeoへの性教育の重要性もどんどんPRすべき時代が来ている。他方中高年令の自殺者が年々増加の一途をたどっている。特に70才台~80才台はpeakに達している。心の寄り所のない「うつ状態、の人が多く長時間の楽しい対話、童謡等で「心の奉仕、治療が必要である。



We Serve

まとめ

国際化時代における地域奉仕、は先づ自己の地域を固め、相互理解のLの原点で検討、研修を重ねZoneへ、そしてRegionへ、themeを進めて行く→そして日本Lの意見として東洋東南アジアへ、更に世界のLionsへと

進めてゆくべきと思う。そして他の奉仕団体と共に国際的組織のもとに今後の方向指針を展開してゆかねばならない。elect時代の提案としてでなく、長期research themeとして、変化する世界へ活動を進めてほしい。御検討いただければ幸いである。

合同アクティビティの展開

3R2Z千葉LC L. 北村泰彦

複合地区大会・長期計画リサーチ分科会で同じテーマがとりあげられ、討議資料として全クラブからアンケート方式でご意見を伺った。偶々、担当委員として集計、結果分析の掌に当たった立場から、その中味の抜粋報告を意見の基礎に置きたい。

■LCの奉仕活動の対象はどうあるべきかについて、古く且つ新しい問題として、しばしば討議されて来たが、一方に、積極的なACTオール合同論。一方に古典的域内自主奉仕論も根強く存在した。

本年度ジェニングス国際会長は、「変化への挑戦」を大きな課題として、ACTの分野でも大胆卒直な見直しを求めている。折しも昨今の急速な国際化時代の進展に伴って、世界的な相互依存は日常的となりつつある。

こうしたさう勢から、LCIF、YE、国際姉妹結縁などその是非を問う人は今では皆無に近い。又情報通信交通手段の発達に伴って、災害救援、アイバンク、腎バンク、身障者スポーツ、万博支援など、ACTの広域化、スケールメリットの現実を疑う人も皆無に近い。

■アンケート回収率は複合平均82.4% 当C地区は、96.4%の高率で、合同ACTの関心度が高い証左である。

その内容も、10年経歴以上のクラブが76%も占め、CABホストや地区大会ホスト体験クラブが30%を越える当地区内のクラブ会長幹事の見識深い自由意見を加えた回答は大変心強い。

■(A) 合同ACTに対する基本姿勢：

趣旨に賛同したときに参加する…68.2%	} 81.8%
積局的に賛成推進したい……………13.6%	
付き合いの程度で済ませたい……………14.8%	} 18.2%
不賛成……………3.4%	

(B)賛成する理由：

集積効果	41.2%
対象広域化	24.5%
連帯意識	17.6%
社会的反響	16.7%

(C)不賛成の理由：

クラブの自主性侵害	32.2%
地域非密着性	28.9%
財政負担加重	23.3%
自発的バイタリティを失う	15.6%

(D)合同ACTの条件：

事前ニーズ調査、効果予測	36.7%
参加クラブのコンセンサス	25.8%
地区大会での討議	25.0%
国際、地区スローガン準応	12.5%

(E)規模：

リジョン・ゾーンレベル	42.5%
地区レベル	33.6%
日本レベル	13.3%
国際レベル	10.6%

■以上から合同ACTは概ね理解されているものの、他準地区に較べて未だ不賛成派非積極派が2割近くあることに留意すること。(B地区では2.1% A地区では4.8%存在)

賛成する理由、不賛成理由、合同ACTの条件、規模いずれもAB地区と大差ないが、当C地区の目立つ点は賛成理由の中の「連帯意識」合同ACT条件の中の「大会討議」が大きな比重で挙げられていた。……先般の地区討論会など、大会以外日常的なシンポジウムが今後とも有効であろうし、併せて各種データをGOVの方針策定に資することが出来るよう期待する。

特に本大会に提案されている「ルテナント・ガバナー」に係るL吉成の解説のなかで、地区ガバナー候補者は表向き全く動けず、慎しみ深く沈黙を守らなければならない、慣習の影響がないとは言えない消息に注視さざるを得ない。



We Serve

ACT NEWS

千葉 L C

台北県友好クラブ訪問

—24周年記念式典 金銭ACT—

台北県国際獅子会（当クラブの友好クラブ）の24周年記念式典に参加、台北県国際獅子会を通じて下記の2ヶ所へ寄付しました。

- 1. 台湾台北地方法院
士林分院少年輔導基金委員会
少年教育機材整備基金として……50,000円
- 2. 台北土東国民学校へ……50,000円



記念樹贈呈ACT

千葉LC会長 L. 椎名 益 男

千葉LCは結成以来緑を大切にし、周年行事として県立美術館に記念樹の贈呈を続けております。当クラブ所属の榎元ガバナーも、かつて地区アクティビティスローガンを「緑こそいのち」といたしました。

寺嶋新ガバナーの「育てよう緑の大地、住みよい環境」のアクティビティスローガンにもものっとり、小泉ガバナーの記念事業アクティビティで完成した精神薄弱者更生施設「エルピザの里」の正門わき、および中庭に松、つげ、まき、梅、つつじ等成木植栽費共100万円を贈呈いたしました。





We Serve

柏グリーンLC

我がクラブ最大ACT事業

市民教育委員長 L. 田代 忠 徳

我々、柏グリーンライオンズクラブは青少年健全育成と、柏市民に文化的教養の場を提供する事を目的として、柏市教育委員会後援のもとに毎年「柏市小中高等学校音楽フェスティバル」を6月15日、県民の日に開催しております。今年も22校の出場校を得まして、午前9時30分より午後5時まで、柏市民文化会館で盛大に開催しました。梅雨の合間に天候に恵まれ、会館御来場者延べ約2500人の方々が子供達を激励下さいまして、今後も音楽を通して子供達が情操豊かに成長されます事を期待致します。又、柏市立高等学校生徒のメインイベント吹奏楽全国1位金賞を受賞され「すばらしい曲」指揮者石田修一先生の吹奏楽で有終の美をかざり、又生徒達のマナーの良い事を目の当りに見て感動しました。早朝よりお手伝いいただきまして誠に有難うございました。

さて、クラブ最大ACT事業として、金銭ACT約200万円。労力 ACT480時間

又、メンバーの皆様方には早朝より遅くまで全員の労力を奉仕され、心から感謝申し上げます。



茂原長生LC

柔剣道大会

PR情報委員 L. 東 條 安 夫

青少年健全育成事業として、例年通り柔剣道大会を、下記のように実施致しました。

日 時 H1・6・11(日) AM8:30より

場 所 茂原市市民体育館

参加校 10校 茂原中、富士見中、東中、南中、一宮中、長生中、長南中、睦沢中、白子中、本納中

参加中学生 251名

メンバー出席 41名

賞品代・諸費用 ￥680,000-





We Serve

船橋ポートLC

「高齢化社会」への役割りに
燃えて丸6年

船橋ポートLCは、昭和57年チャーターナイトを迎えるにあたり、当時クラブアクティビティーの研究の中から「高齢化社会」への取り組みがあり、行政の施策と一致して、翌58年4月「船橋市老人大学」が開校した。

以来、クラブアクティビティーのメイン事業として継続、ルームティチャーと講師の派遣を行って来た。すでに1,000人を超す卒業生を送り出している。

同窓会との共同で行う老大祭（運動会）には、企画、運営、進行にあたり、当日はメンバーの手作りによる、焼そば、カレーライス、お雑煮を出す。年々数を増す卒業生が元気に各地域の中でリーダーとして活躍されている姿に接する時、労力奉仕の喜びを味わう。今年も宮本中学校グラウンドに、約400名が参加して盛大に開催した。

労力アクティビティー 1,520時間

金銭アクティビティー 11,260,000円

(いずれも1984～1989年累計)





We Serve

91.0761

「エルピザの里」開園に当たって 精神薄弱者更生施設エルピザの里

社会福祉法人清輝会理事長 桑 田 昭
(千葉中央LC会員)

去る5月14日、船橋で開催された第35回ライオンズクラブ国際協会333-C地区大会において、地区会員の皆様から友愛と奉仕の理念の結晶として、エルピザの里に対し、マイクロバス「ライオンズ号」の贈呈をうけた。私はライオンズ歴25年になろうとしているが、今更にしてライオンズクラブの友愛と奉仕の精神の偉大さ、合同アクトの素晴らしさ、有り難さを身にしみて痛感している。

地区内84クラブ、会員数3800余人から逆算すると、1人当たり約1000円のドネーションによって実現した事になる。合同アクトに対しては兎角意見の分かれるところではあるが、しかし、個々ではささやかなものであっても地区全体ともなると、単独では仲々手にする事が出来ないマイクロバスという大きな成果を生む事になり、日常の行動範囲が兎角狭くなりがちな障害者にとって、旅行や遠足その他に利用する事が出来、毎日の活動を一挙に広める事が出来る。車体の横腹には、施設の名称と共にライオンズクラブのマークが描かれ、今後末永く街を走る姿が見られると思うが、そのPR効果も非常に大きい。

近年社会福祉事業や障害者に対する社会の認識は非常に高まって来ている。然し現実に参加意識を持つにはいたっていない。欧米先進国では、家計簿や日記帳には、寄附とかボランティアと言う項目があるそうだが、日本では社会福祉事業は行政のやるべき事と言う観念が未だ根強いと思う。ライオンズクラブの奉仕活動により、社会の関心を集め、福祉に対する理解を深め、奉仕に参加する気運を高める事になれば、素晴らしいと思う。極く少数の人々の善意で行われるのではなく、数多くの人々の理解と支援を得て行われる事業は、非常に大きな意義を持つと言う事を経験的に確信する事が出来た。今回この施設建設を計画して以来、足掛け7年にして実現する事が出来た今、障害者及びその家族から感謝され、喜ばれる事によって、言い知れぬ安堵感と充実感に浸っている。この大きな経験と実感を大切に、今後より一層福祉事業に精励すると同時に、物質万能、金銭指向の強い

現代社会にあって、少しでも意義ある人生を送れるように、努力を続けたいと考えている。

最後に今年度ガバナーの記念事業として、とりあげて下さった小泉ガバナー、並びに複名誉顧問、竹久ライオンを始めとする各リジョンチェアマン、そして千葉県下ライオンズクラブ会員の皆様に、心から深甚なる御礼を申し上げると同時に、今後共変わらない御指導と御支援をたまわりたいと存じます。



We Serve

こんな奴等の5周年特別例会

千葉ポートLC L. 小山 貴志

40の個性が、其れ其れの思いに40の方角を向いている。そんな私達のクラブで培われた友情と、クラブ精神で五年が経った。品や形で劣るとも、友を亦クラブを愛しいと思う情は諸先輩クラブ同様と自負している。こんな奴等が苦勞を共にし、今日を本当に喜んでくれる。極々内輪で5周年を祝った。

メインテーブルにはアクトを通じて親交を深めてきた、バンコック、コスモポリタンLC元会長ソムサク・ブンスナーノンL以下2名及びケニア共和国モハメッド・サノ1等書記官、オスマン・サンコン氏、ザイル共和国よりムウェテ・ムルアカ氏その他「父の樹会」吉野理事長ら市内アクトの関係者の列席を賜わる。集いは人気者のサンコンと各テーブルとの間でQ&Aや撮影に笑い、オークションも盛況で、益金9万円がギニアの井戸掘り資金にその場で贈呈された。余談ではあるが、英語で井戸を良き物の意で well という。またTTタイムでも使う罰金を、素晴しき物 time という。英語の中に見る西洋の情神に暫し、謙虚を覚えること少なからずである。話は戻るが、そんな雰囲気の中で160余名のメンバーズファミリーとゲストだけの小さな5周年の祝いが、従来の周年行事と形を異にはしてしまったけれども楽しく、さ、やかに催うされた。それにつけても、今日我等友垣固くここに集うは、若潮LCのスポンサーあればこそと、その産みの苦勞を偲び愛を想う。慈に深く感謝を捧ぐ。



5周年委員長 L立石忠彦



タイ国バンコック、コスモポリタンLC元会長 Lソムサク ブンスナーノンより千葉ポートLC会長 L長井昌夫へ記念品贈呈



333-C、3R、RC L竹久定雄、

サンコン氏へ小泉Gバーナー贈呈



ケニア共和国 モハメッド・サノ一等書記官より

L長井会長へ感謝状



写真左より、サンコン氏、333-C、3R、RC L竹久定雄、ケニア共和国モハメッド・サノ一等書記官、ザイル共和国ムウェテ・ムルアカ氏

We Serve

1 リジョン親睦ゴルフ大会

1 R. RC L. 平川 進

つゆ入りと云うのに快晴に恵まれ去る6月12日、柏ゴルフクラブで精鋭約200ライオンのご参加を得て開催しました。小泉ガバナー、木下幹事、小石地区PR情報委員長も遠路、ご多忙の中をご参加され、一同和気あいあいのうちに熱戦を展開しました。ノータッチ、フルバックからのプレーで、親睦ゴルフには大変きびしいルールで主催者側として申し訳ないと反省しておりますが、当日の成績は次のとおりです。ご参加下さった各ライオン、ライオンレディに心からお礼申し上げます。

1. 優勝 磯部敬一 (松戸中央クラブ)
2. シニヤ優勝 芳野幸雄 (柏クラブ)
3. レadies優勝 内藤いつ (流山ネスクラブ)
4. ベストグロス 平沢一是 (柏オーククラブ)

注：新ペリヤ方式



ご 挨拶

PR情報委員長 L. 小石 税

333-C地区PR情報委員長を仰せつかり早や1年が過ぎました。PR情報委員・地区ニュース編集委員の皆様との協力で何とか約束通り期間内に最終号がとどけられました。

ガバナー方針に基づき、対談形式で問題提起し、メンバー各位に議論を興し、勇気ある提言を期待いたしましたが、反論の投稿はありませんでした。読んでくれないのか、内容が悪いのか、毎号なやみました。

限られた予算、片手間の仕事は限界だと思います。内容の充実、継続性ある編集の為にも、専門化すべきだと思います。ぜひ年次大会、PR情報分科会で賛成を得た地区ニュース編集委員の専門化研究会の設置をお願いし、最後に私意として情報関係はキャビネット会議議事録の充実、PRはライオン新聞を発行し、一般の方々にも読んでいただく様にすべきと提言して、333-C地区メンバー各位の一層の御健勝、御多幸と御協力に感謝して、お礼の言葉といたします。

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 印西 LC 故L 川村 啓安 (1989年5月)
 茂原 LC 故L 寺田 定雄 (1989年5月2日)
 長柄 LC 故L 鶴岡 進 (1989年5月3日)
 東庄 LC 故L 林 広茂 (1989年6月21日)

1989年(平成元年)7月13日 印刷
 1989年(平成元年)7月15日 発行
 発行所 千葉市問屋町1の55 シーオービル6F
 ライオンズ国際協会333-C地区
 キャビネット事務局
 印刷所 船橋市高瀬町32番地
 (株)総合印刷 新報社
 電話 0474-31-9166